

MARVELIC EXCELLENT

施術マニュアル

202310 改訂版

ヘアカラー パーマ デジタルパーマ ストレートパーマ マニキュア ブリーチ トリートメント デトックス

EX1 EX2 EX3 EX7 希釈して塗布します

EX1 : 水=1:3(4倍希釈液)

EX2 : 水=1:3(4倍希釈液)

EX3 : 水=1:3(4倍希釈液)

EX7 : 水=1:7(8倍希釈液)

※ダメージレベルや髪質によって原液を使用すると効果がアップします。

EX1 を原液で使用⇒薬剤の働きを促進します。

EX2 を原液で使用⇒ダメージの補修効果をアップします。

EX3 を原液で使用⇒残留アルカリを強力に除去します。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は乳化の時や中間処理で **EX2** を6~8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は乳化の時や中間処理で **EX2** を原液~2倍希釈で使用します。

◆塗布量

●前処理・中間処理・乳化の時の塗布量

必要な部分に垂れない程度の量を塗布します。

塗布量はフォーマーボトルで5~20プッシュ(3.5~14mL)が目安です。

フォーム状にしてカップに取ってブラシやコームなどで塗布します。

または液体のままアプリーターやスプレーで塗布します。

●後処理の時の塗布量

過酸化水素やアルカリを除去するため十分な量を塗布します。



MPLEX1 EX4 EX5 カラー剤やパーマ剤などに添加します

MPLEX1 はカラー剤やブリーチ剤に5~10%添加します。

EX4 はチオ系の1剤に10~20%添加します。

EX5 はカラー剤・トリートメント剤に2~5%添加します。

1N 1H 2B デザイントリートメント(パーマ剤) ※化粧品分類のカーリング料

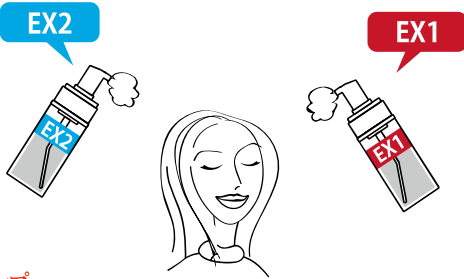
1N (1剤) はローションタイプ(ノーマル)です。カール専用です。

1H (1剤) はクリームタイプ(ハード)です。ストレート専用です。

2B (2剤) はローションタイプ(プロム酸)です。カールとストレート兼用です。

うねりがとれるヘアカラー うねりをとる工程

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライのあと毛髪診断します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

新生毛やクセが取れにくい部分は EX1 を塗布します。

EX1 または EX2 を頭皮に塗布すると 1H の刺激を緩和します。

前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2



●1剤 1H 塗布

毛髪診断に基づいて 1H を塗布します。

根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

根元ギリギリに 1H を塗布しても根元が折れることはありません。

※ 1H が頭皮に付かないように注意してください。

毛先が超ハイダメージの場合は EX4 または EX1(原液) を塗布します。

塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

3



●放置または加温

毛髪診断に基づいて時間を設定し放置または加温します。

放置時間は10～15分が目安です。 ※オーバertime厳禁

10分以上放置しても軟化不足の場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック

軟化が不十分だとクセが取れなかったりアホ毛が出来たりします。

●中間水洗

※アイロンの工程 5 が不要な場合は 4 中間処理の後、カラーの工程に入ります。

4



●中間処理 髪質改善

タオルドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ダメージ補修効果がアップします。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

5



●ヘアアイロン

完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。

ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

※ヘアアイロン用のオイルやローションはヘアカラーの酸化重合を妨げるので絶対に使用しないでください。

ヘアアイロンの工程が終わったら、続いてヘアカラーの工程に入ります。

カラー剤の2剤がストレートパーマの2剤を兼ねます。

※続けて施術するヘアカラーの工程でプレシャンプーと毛髪診断は不要です。

※ 5 ヘアアイロンの工程を行わない場合は 4 中間処理の EX2 と EX7 を塗布後ハーフドライしてください。

応用施術例

●前処理

クセが取れにくい部分に EX1(原液) を塗布し5分加温するとダメージレスでクセが取れやすくなります。

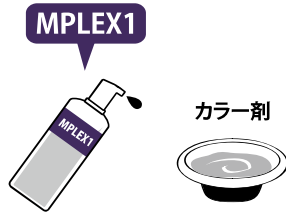
ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布し5分加温するとダメージ補修効果がアップします。

※チオ系の1剤を使用する場合

チオ系の1剤に EX4 を10～20%添加すると硬さやバサつきが無くなります。

ヘアカラー

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断

ハーブドライの後毛髪診断をします。

●MPLEX1添加

カラー剤(1剤+2剤)に対して **MPLEX1** を5%添加します。

ハイダメージ毛の場合は10%添加します。

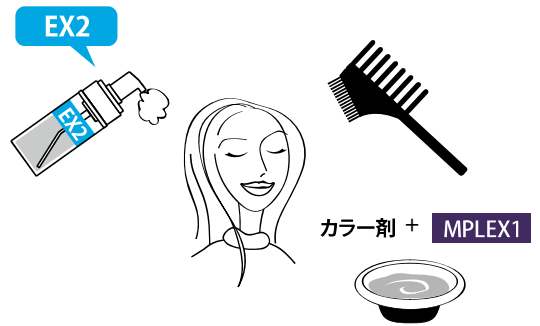
※専用ドロップポンプで添加する場合は、

カラー剤(1剤+2剤)重量の1/10の回数を添加すると5%になります。

カラー剤(1剤+2剤)100gの場合は10回プッシュ!

カラー剤(1剤+2剤)60gの場合は6回プッシュ!

2



●EX2 をフェイスラインと頭皮に塗布

カラー剤の刺激を緩和します。プロテクトクリーム不要です。

乳化の時にフェイスラインと頭皮に残ったカラー剤が簡単に取れます。

●カラー剤塗布・放置

毛髪診断に基づいてカラー剤を塗布して放置します。

●カラーチェック

染まりが甘い部分があった場合は **EX2** を塗布し揉みこむと発色が促進されます。

3



●乳化 髪質改善

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

お湯ではなく **EX2**・**EX7**・**EX3** で乳化します。

EX2・**EX7**・**EX3** の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。

頭皮に揉みこむと頭皮に付いたカラー剤が簡単に取れます。

毛先がハイダメージの場合トーンダウンしやすいので **EX2** 塗布後すぐに

EX3 を塗布します。**EX3** の後 **EX7** を塗布します。

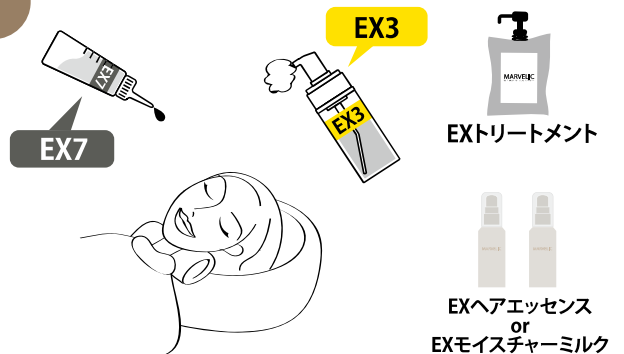
※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は **EX2** を6~8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は **EX2** を原液~2倍希釈で使用します。

●シャンプー

4



●後処理

タオルで余分な水分を取り **EX7** を塗布し更に **EX3** を塗布します。

EX7 と **EX3** を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーブドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

工程 1 で前処理を行うとクオリティーが更にアップ!!

トーンアップする場合は、中間・毛先に **EX1** を塗布しハーブドライします。

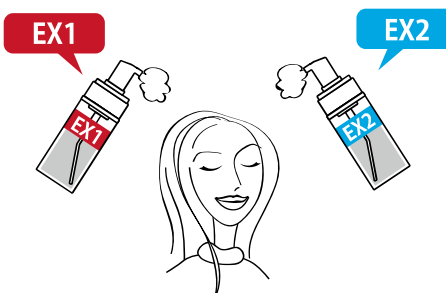
トーンダウンする場合は、全頭に **EX2** を塗布しハーブドライします。

乳化・後処理の工程は動画マニュアルをご参照ください。



ブリーチ

1



EX1 EX2

- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 毛髪診断・前処理
ハーフドライの後毛髪診断します。
脱色しにくい髪には EX1(原液) を塗布します。
普通の髪には EX1 を塗布します。
前処理剤を塗布後ハーフドライします。

2



MPLEX1 プリーチ剤 放置

- EX2 をフェイスラインと頭皮に塗布
ブリーチ剤の刺激を緩和します。プロテクトクリーム不要です。
- MPLEX1 添加
MPLEX1 をブリーチ剤(1剤+2剤)に対して 10% 添加します
- ブリーチ剤塗布
- 放置
- チェック

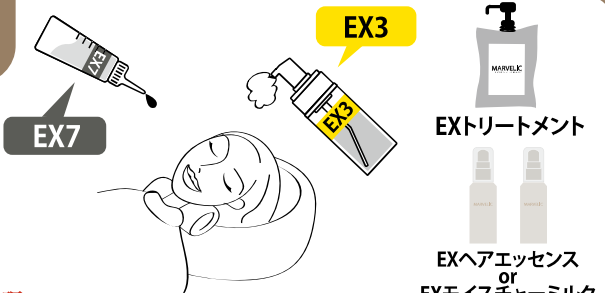
3



EX2 ダメージレス EX7 EX3 重要

- 中間処理 **ダメージレス**
※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。
お湯ではなく EX2・EX7・EX3 で中間処理します。
EX2・EX7・EX3 の順で全頭と頭皮に塗布し揉みこみます。
EX2(原液)を塗布するとダメージの補修効果がアップします。
- シャンプー

4



EX7 EX3 EXトリートメント EXヘアエッセンス or EXモイスチャーミルク

- 後処理
タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。
EX7 と EX3 を洗い流さずに EXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。
※ダブルカラーの場合はトリートメントやヘアエッセンスを塗布しないで水洗してください。

マニキュア

1



EX1

- プレシャンプー
お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。
- 毛髪診断・前処理
ハーフドライのあと EX1 を塗布します。
マニキュア剤が塗布しやすい程度にドライします。

2



マニキュア剤 加温または放置

- マニキュア剤塗布
- 加温または放置
- チェック

3

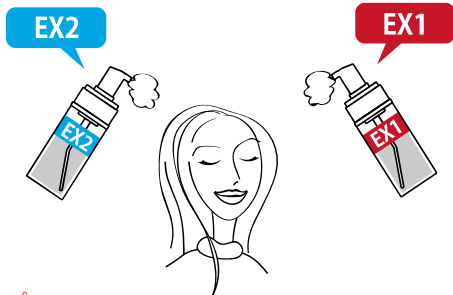


EXトリートメント EXヘアエッセンス or EXモイスチャーミルク

- シャンプー
水洗の後、EXトリートメントを塗布します。
チェンジリンスし軽く水洗します。
ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

パーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライのあと毛髪診断します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

前処理剤を塗布後ハーフドライします。

EX1 または EX2 を頭皮に塗布すると 1N の刺激を緩和します。

2



●1剤 1N 塗布

水巻またはつけ巻きで 1N を塗布します。

●ワインディング

ワインディングの後、根元に EX1 を塗布すると根元が立ち上がります。

●放置または加温

毛髪診断に基づいて放置または加温します。

放置時間は8~10分が目安です。 ※オーバータイム厳禁

●テストカール

●中間水洗

中間・毛先だけワインディングした場合は、ロッドが外れないようにアプリケーションナーにお湯を入れて 1N を洗い流してください。

3



●中間処理 髪質改善

タオルで余分な水分を取り EX2 と EX7 を塗布します。

EX2 と EX7 を塗布後5~10分クリープするとしなやかでハリのあるパーマが再現できます。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6~8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液~2倍希釈で使用します。

4



●酸リンス EX3 2剤 2B 塗布

EX3 を塗布後余分な水分をタオルでしっかり取り 2B を塗布。7分+7分放置

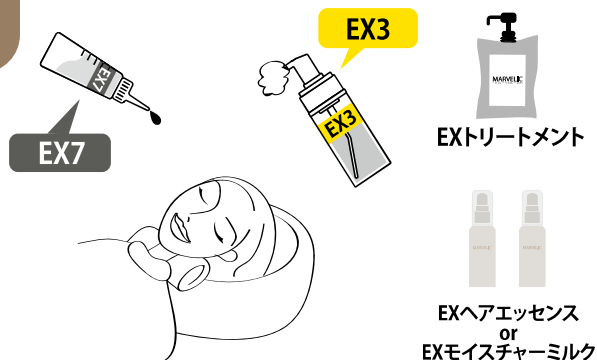
2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

●ロッドアウト

●水洗

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さないでEXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたはEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

応用施術例

●前処理

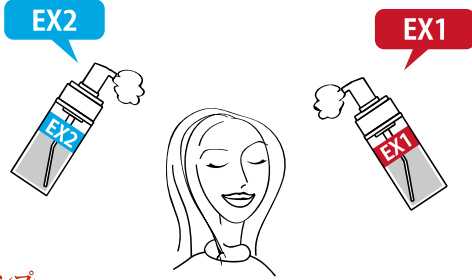
ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布し5分加温するとダメージ補修効果がアップします。

※チオ系の1剤を使用する場合

チオ系の1剤に EX4 を10~20%添加すると硬さやパサつきが無くなります。

ストレートパーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライのあと毛髪診断します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

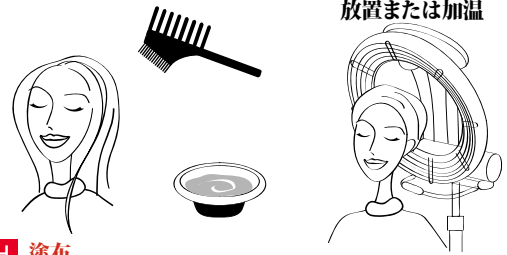
ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

新生毛やクセが取れにくい部分は EX1 を塗布します。

前処理剤を塗布後ハーフドライします。

EX1 または EX2 を頭皮に塗布すると 1H の刺激を緩和します。

2



●1剤 1H 塗布

毛髪診断に基づいて 1H を塗布します。

根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

根元ギリギリに 1H を塗布しても根元が折れることはありません。

※ 1H が頭皮に付かないように注意してください。

毛先が超ハイダメージの場合は EX4 または EX1(原液) を塗布します。

塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

●放置または加温

放置時間は10～15分が目安です。 ※オーバータイム厳禁

10分以上放置しても軟化不足の場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック ●中間水洗

3



●中間処理 髪質改善

タオルドライ後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

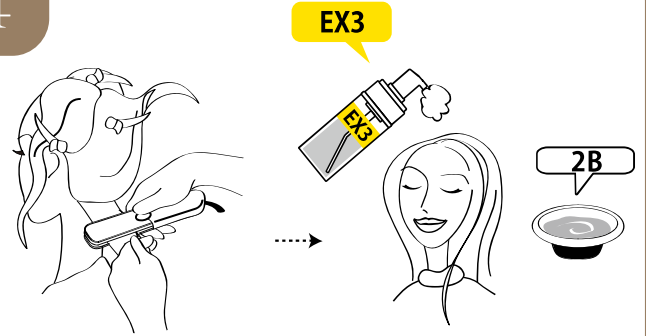
ダメージ補修効果がアップします。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4



完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。

ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

※ヘアアイロン用のオイルやローションは2剤(酸化剤)の働きを妨げるので絶対に使用しないでください。

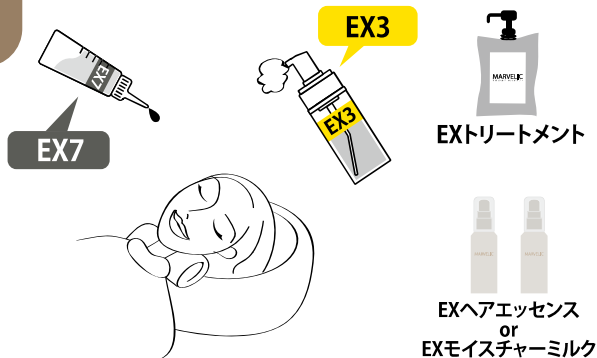
●酸リンス EX3 2剤 2B 塗布

EX3 を塗布しハーフドライの後 2B を塗布。 7分+7分放置

2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さないで EXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、

EXヘアエッセンスまたは EXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

工程 1 で前処理を行うとクオリティーが更にアップ!!

◆施術例

前処理でクセが取れにくい部分に EX1(原液) を塗布し5分加温するとダメージレスでクセが取りやすくなります。

ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布しハーフドライするとダメージ補修効果がアップします。

※チオ系の1剤を使用する場合

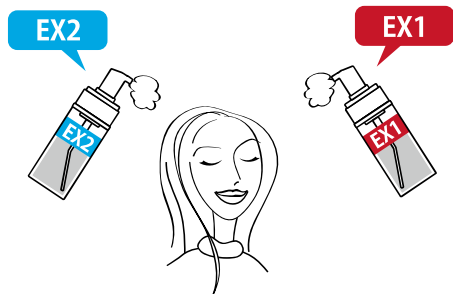
チオ系の1剤に EX4 を10～20%添加すると硬さやパサつきがなくなります。

動画マニュアルをご参照ください。



デジタルパーマ

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライのあと毛髪診断します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

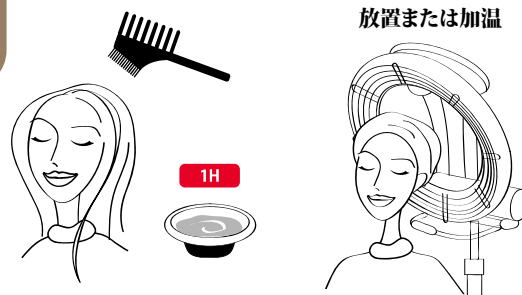
ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

新生毛やクセが取れにくい部分は EX1 を塗布します。

前処理剤を塗布後ハーフドライします。

EX1 または EX2 を頭皮に塗布すると 1H の刺激を緩和します。

2



●1剤 1H 塗布

毛髪診断に基づいて 1H を塗布します。

根元・中間・毛先と時間差を設けて塗布しラップします。

毛先が超ハイダメージの場合は EX4 または EX1(原液) を塗布します。

塗布に時間差を設けて根元と毛先を均一に軟化させることが重要です。

●放置または加温

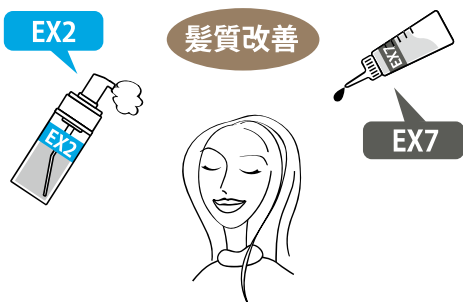
放置時間は10～15分が目安です。 ※オーバータイム厳禁

10分以上放置しても軟化不足の場合は 1H を再塗布し放置又は加温します。

●軟化チェック

●中間水洗

3



髪質改善

重要

●中間処理 髪質改善

タオルドライの後、EX2 と EX7 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

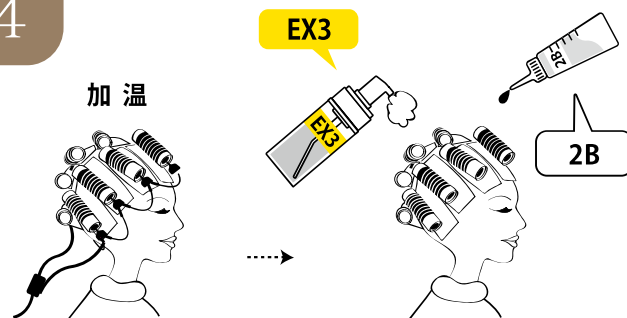
ダメージ補修効果がアップします。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを柔らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

4



加温

●ワインディング

●通電 加温 通電終了

●酸リンス EX3 2剤 2B 塗布

EX3 を塗布後余分な水分をタオルでしっかり取り 2B を塗布。

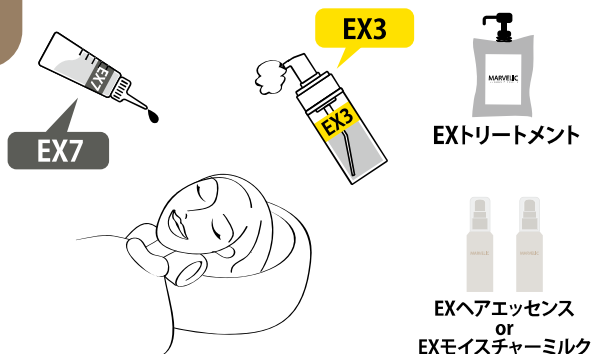
7分+7分放置

2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

●ロッドアウト

5



●後処理

タオルで余分な水分を取り EX7 を塗布し更に EX3 を塗布します。

EX7 と EX3 を洗い流さずに EXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。ハーフドライのあと、

EXヘアエッセンスまたは EXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

応用施術例

EX4

※オチ系の1剤を使用する場合

オチ系の1剤に EX4 を10～20%添加すると硬さやパサつきが無くなります。

トリートメント

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずに丁寧にシャンプーします。

●毛髪診断

ハーフドライのあと毛髪診断します。

●前処理

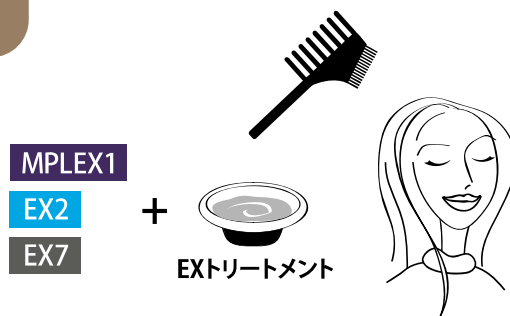
毛髪診断に基づいて、ハイダメージ部分に EX2(原液) を塗布します。

全頭に EX2 と EX7 を塗布します。

●加温後ハーフドライ

ラップして5分加温しハーフドライします。

2

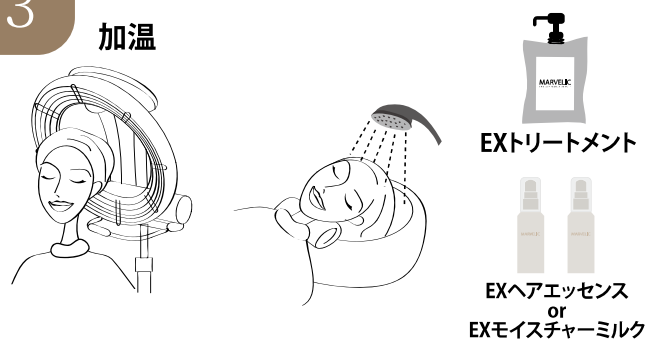


EXトリートメントに MPLEX1 と EX2(原液) と EX7(原液) を各2~5%添加します。

●トリートメント剤塗布

3

加温



●加温

ラップして10分加温します。

●水洗

水洗の後、EXトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

ハーフドライのあと、EXヘアエッセンスまたは

EXモイスターミルクを塗布して仕上げます。



デトックス

薬剤を毛髪や頭皮から完全に取除くことで、「半永久的に退色しない」「リッジがダレない」を実現できます！

カラー剤やパーマ剤などの薬剤を水洗しタオルドライします。

EX2 と EX7 を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分放置します。

更に EX3 (4倍希釈液) を全頭と頭皮に塗布し揉みこんだあと5分放置します。

EX2 と EX7 と EX3 を洗い流さないでトリートメントを塗布します。

チェンジリンスし軽く水洗します。

※フィニッシングでしっかり水洗しても過酸化水素やアルカリ剤が残留します。
残留した過酸化水素やアルカリ剤が退色やリッジがダレる原因になります。

※詳しくはデトックスマニュアルをご参照ください。